

第 4 回協議会における主な意見のまとめ

<第 1 章 基本方針の背景について>

- ・ 特になし

<第 2 章 公共施設の現状と課題>

- ・ 利用度が公共施設の唯一絶対の指標にはなり得ないことには注意する必要がある。
- ・ 「利用状況と老朽化の状況」は、もう少し具体的な施設名を見せたほうが現実味を帯びたものになる。例えば、図書館でも一番古いもののベスト 3 を入れていくなど。
- ・ 4 象限の分析で問題のありそうな施設のあぶりだしをしているが、目指すべき姿としてベストプラクティスといえる施設のケースを見せることができると良い。
- ・ もう少し東村山の特色を出せると良いと思う。
- ・ 東村山市は鉄道の駅が多いとか地理的な問題も含めて、他市との違いから生まれる公共施設再生の可能性や特徴を出していけないか。

<第 3 章 基本方針>

○基本理念について

- ・ 「将来世代にツケを残さず」は、財政論的には世代間の公平のため少しはツケを残したほうが良いということがある。過大な負担を残してはいけないという意味合いの文言を入れるべきではないか。

○基本方針 1 について

- ・ 集約化と統廃合のイメージは、施設が無くなるのが前面に出すぎている。廃止した施設の土地や建物を貸付、売却して財源を捻出するなど、経営戦略的なイメージを示せると良い。

○基本方針 2 について

- ・ お金のやりくりの話をもっとピックアップできると良い。
- ・ 民間活用や、債券の発行などをもっと強調するとよいのではないか。
- ・ 「資産を最大限に有効活用し、効率的・効果的な管理運営を実施する」で終わるのではなく、市民協働などでファンドを出すということを強調し、財源的には市民も参加できるのだと、市民サービスを満足するために市民も参加するということをうたえないか。

○基本方針 3 について

- ・ いたずらなど、施設の使い方で被害が出ているということも書いたほうが良い。
- ・ 利用者がもっと大事に使えば施設は長持ちする。利用者の教育などについても触れた方が良い。
- ・ 海外の事例では、シティズンシップ・エデュケーションを行っているところがある。道路のアダプト制度など、施設のオーナーシップを高める手法も徐々に増えてきている。
- ・ 建替え等に係る事業費を平準化させていく考え方を明記した方が良い。

○基本方針 4 について

- ・ マネジメントの仕組みを構築する具体的なやり方をもっと書けるとよい。

- ・ タテ割り行政を超えるという話を具体で示めせると良い。
- ・ 今までは国の補助金の仕組みなど、タテ割りでやっていかざるを得ない状況があったが、今後はタテ割りを超えて行くというメッセージを出したほうが良いと思う。設置目的が違っても利用実態としてはほぼ同じように使われている施設の再編も考えられる。

<第4章 公共施設再生計画の推進に向けて>

- ・ 「サービスの適正化の検討」に印がつけられているが、この施設はどれなのか質問された場合、答えられるようにしておくことも必要ではないか。
- ・ 「早期着手が必要な取組み」と東村山市の 208 の公共施設がどのように連動していくのか示すとわかりやすい。
- ・ 「公共施設再生計画の推進に向けて」では、一般の市民の方から、いつ頃からどんな形で始めるのかという意見が出てくるのではないか。
- ・ モデル事業として、既存の建物を改修して多機能化をさせ、いろいろな役割を担えるような建物を提案できるとよい。新しい価値を持たせるということもできれば早めできればよいと思う。「民間等事業手法提案の受入体制」として、民間のアイデアを活かすことも是非やってほしい。
- ・ 「市民との連携」があるが、行革論、財源論の話から入るのではなく、市民とどのような合意を作りながら進めているのか手続き論の部分で実施することを明記したほうがよい。

<基本方針（案）全般について>

- ・ 具体的なアクションについて明記されていないと、パブリックコメントを求めてもあまり意見が出てこないのではないか。例えば、「集約化・統合化の定義」に具体的な施設名を例として挙げてみてはどうか。
- ・ 老朽化して危険が生じている施設の写真などを例として掲載すると一般の方にはわかりやすいのではないか。
- ・ 敢えて波紋を広げるため、非難を覚悟の上で、どこかモデルケースを想定して提示することはできないか。
- ・ 基本方針の中に今回の目玉はこれだというものがあると良い。
- ・ 「ハコ」、「ツケ」、「タテ割り」の表現は一般市民に通じる言葉か気になる。
- ・ 行政用語の域を超えており、役所が出す文章としては非常に珍しい。市民感覚としてはわかりやすくとても良いのではないか。

<住民説明会について>

- ・ 住民説明会では、人集めが重要。広報の PR の内容は、若干過激にした方がよい。
- ・ 自分の将来にかかる話なのだとすることをわかりやすく示す工夫があるとよい。
- ・ 公民館やサンパルネで説明会を実施すると、その施設利用者の参加が多く、自分達の施設はなくさないでくれという意見に偏ってしまうのではないか。
- ・ 住民説明会と市民意識のアンケート結果との意見の乖離が生じると思う。少数意見に引っ張られることなく説明をして欲しい。